

平成 30 年 9 月 3 日現在

機関番号：22604

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2013～2017

課題番号：25257307

研究課題名(和文) 北部ベトナム・キリスト教会堂建築に関する建築史的研究

研究課題名(英文) Study on the Architectural History of Catholic Churches in the Northern Vietnam

研究代表者

山田 幸正 (Yamada, Yukimasa)

首都大学東京・都市環境科学研究科・教授

研究者番号：10191347

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 26,700,000円

研究成果の概要(和文)： ブイチュ教区・ファットジェム教区の全面的協力を得て、前者39件、後者24件、計63件の教会堂を実測調査した。伝統的木造架構の教会堂に加え、1920年代の煉瓦造の秀作、RC造導入期である1930年代の大規模な例等、多様な様式技法を包含した北部ベトナム教会堂建築史を整理することができた。調査成果の他、改築や破却等の情報をデータベースに反映させると共に、調査実施済み教会に対し、図面と写真による展示用パネルと簡易な報告書を贈り、調査成果の還元を行った。今後の教会堂の保存と地域カトリック文化の振興に活用いただくよう、これまで構築してきたデータベースを、更新・公開のシステムを含め、教会側に譲渡した。

研究成果の概要(英文)： Receiving full cooperation from Buichu and Phatdiem dioceses, we have conducted architectural surveys of 63 churches in total (39 in the former and 24 in the latter). In addition to the churches with traditional timber frames, surveying excellent brick structures of the 1920's, large-scale RC structures in the 1930's, et al. we could illustrate the architectural history with technical diversity on churches in Northern Vietnam.

Sharing the results of the survey through the Database which we continued to update, we donated the panels with drawings and photographs for display and tentative reports to the churches after finishing the survey. In order to utilize for conservation of historical churches and for promotion of local catholic culture, we have transferred the operation of Database system including updating and releasing in public to the two dioceses.

研究分野：建築史学

キーワード：東南アジア キリスト教 煉瓦造 木造架構 RC造 データベース 保存 近代化

## 1. 研究開始当初の背景

ベトナム北部・紅河デルタに点在するキリスト教会堂は、近代の歴史と文化を語る上で極めて重要であるにもかかわらず、その歴史的・文化的な価値が十分に議論されることはなかった。本研究開始までに、北部を代表する3つの教区を対象に、現存教会堂の悉皆的調査とデータベースの構築、伝統的な木造教会堂の実測調査と分析・考察など行ってきた。その結果、木造教会堂についてはほぼ建築史的流れを把握できたが、現代の教会堂建築に直接つながるRC造を混用した煉瓦造教会堂についてはまだまったく知られておらず、これらを含めた北部教会堂の建築史的把握が必要であると感じられた。また、近年の急激な経済成長の陰で、多くの伝統的教会堂が改築される状況について危惧され、教会堂建築の価値について現地の神父や信者らに正しく認識してもらう必要性が強く感じられた。

## 2. 研究の目的

本研究は、これまでの建築史的な調査研究を踏まえ、さらに発展させるものである。その主たる課題は、①煉瓦造や近代RC造による教会堂の建築的な実態、②木造、煉瓦造、近代RC造を含めた北部教会堂の建築史的体系化、③データベースの活用による教会堂の保存と現代的な再評価などである。北部ベトナムのキリスト教会堂建築について、その建築様式・技術的な分析・考察に加え、世代を越えて継承される建築文化とそれを支える地域社会、急激な社会変動に伴う現代的ニーズにも注視し、その歴史的文化遺産としての価値を整理し提示することを目的とする。

## 3. 研究の方法

本研究における方法として、①できるだけ多くの、また多様な事例を実測調査すること、②調査成果を地元に戻しながら、伝統的な教会建築および教会文化の振興に活用することの二つの柱を設定した。

実測調査は、まず、伝統的な木造架構をもった教会堂以外の煉瓦造などの教会堂の事例のなかで建築史的に重要と考えられる遺構を中心に実測調査および資料収集に重点をおいた。次に、再び木造教会堂ほか、比較的年代の新しい（1930年代まで）重要な教会堂の調査を実施した。

調査成果の地元還元では、毎年、夏実施の調査成果の一部を掲載したパネルと簡易冊子を、翌年春、当該の教会に渡すとともに、一部で簡易なワークショップのような形で教会堂の建築史的な価値を正しく認知してもらうよう努めた。また同時に、教会堂建築を考える上で重要な関連情報として、布教や信仰上重要とされる教会における宗教行事など、伝統的キリスト文化に関する取材と情報収集を行い、データベース化することを試みた。

## 4. 研究成果

本研究5か年間における研究成果は、以下の通り、要約することができる。

(1) **2013-2016年度の実測調査** 本研究期間中、実測調査は2013年8月、同12月、2014年8月、2017年7月、2016年8月の5期において、2013年と2016年をブイチュ教区で、2014年と2015年をファットジェム教区でそれぞれ実施した（表1～5）。

ブイチュ教区では計39例のうち、18例は司祭が常駐する「小教区教会 Xứ」、残り21例は司祭が定期的に巡回する「巡回教会 Họ」であった。一方、ファットジェム教区では調査対象計24例のうち、Xứ8例、Họ15例、修道院聖堂1例であった。

教会堂の建設年代でみると、19世紀に属する例はいずれもブイチュ教区で4例（BC498、BC412、BC233、BC163）は木造の柱・架構による教会で、1例（BC436）だけが煉瓦造の教会であった。両教区とも1920年代から30年代に属する事例が多く含まれた（1900-10年代6例、20年代20例、30年代

26例、40年代以降6例)。

教会堂の間口方向の柱間は3スパンの例、いわゆる3廊バシリカ式とする例が大半である(63例中52例)。第2側廊まで有する例は5例で、単廊式が6例調査された。

表1. 2013年8月 ブイチュ教区調査データ

No.	種別	教会名	建設年	方位	外観	間口方向			奥行方向			高さ
						柱間	全幅*	柱間	全長*	標準柱間		
BC081	Xu.	Thích Hoà	1921	東	単廊	3	19,709	9	58,372	7,262	14,470(C)	
BC087	Ho.	Mộc Đức	1917	南西	単廊	3	11,565	10	36,724	4,000	8,008(C)	
BC125	Xu.	An Bái	1933	南東	単廊	3	13,866	9	47,636	5,522	11,375(R)	
BC165	Xu.	Tân Hoà	1920	東	単廊	3	11,150	9	37,964	4,468	11,440(R)	
BC177	Xu.	Xuân Hoà	1926	東	単廊	3	14,969	9	43,161	5,340	13,598(R)	
BC242	Ho.	Đông Nam Trục	1930	北	単廊	3	13,470	6	43,093	4,140	12,016(C)	
BC263	Ho.	Liên Tỉnh	1930	南西	単廊	1	5,986	7	20,330	-	6,500(C)	
BC264	Xu.	Bách Tỉnh	1936	北東	単廊	3	14,885	10	56,376	5,632	12,365(C)	
BC281	Ho.	Cần Đảnh	1924	東	単廊	3	10,805	8	32,283	4,065	9,437(R)	
BC291	Ho.	Kim Đảnh	1929	東	単廊	3	10,811	8	36,259	4,414	7,609(C)	
BC294	Ho.	Gia Định	1922	南西	単廊	3	8,989	11	24,388	4,843	6,791(C)	
BC389	Xu.	Đông Mỹ	1934	東	単廊	3	13,320	11	47,195	4,723	10,230(C)	
BC415	Xu.	Bình Hải	1938	西	単廊	3	14,774	10	46,636	5,243	9,570(C)	
BC436	Ho.	Nam Dương	1899	東	単廊	3	7,856	7	23,861	3,322	7,762(R)	
BC445	Xu.	Tân Cường	1925	東	単廊	3	11,995	9	42,194	4,559	10,511(R)	
BC463	Xu.	Quy Đức	1937	東	単廊	3	12,961	10	44,224	4,442	10,219(R)	
BC464	Ho.	Nhân Lộ	1921	北東	単廊	3	9,619	8	32,818	4,337	9,097(R)	
BC477	Ho.	Như Nông	1943	南西	単廊	3	9,769	7	29,108	3,988	7,144(C)	

表2. 2013年12月 ブイチュ教区調査データ

No.	区分	教会堂名	建設年	方位	外観	間口方向			奥行方向			高さ
						柱間	全幅*	柱間	全長*	標準柱間		
BC089	Ho.	Thánh gia	1914	北東	単廊	3	9,180	7	25,810	4,023	9,607(C)	
BC142	Xu.	Từ Trùng	1933	東	単廊	3	18,839	9	49,463	6,083	15,000(R)	
BC178	Ho.	Trùng Lạp	1947	北	単廊	1	4,355(9,000)	-	13,455	-	5,300(R)	
BC295	Ho.	Phu Lâm	1932	西	単廊	3	8,143	6	22,485	4,031	6,700(C)	
BC372	Ho.	An Tân	1927	北	単廊	1	4,470(9,585)	-	12,170	-	5,010(R)	
BC386	Ho.	Đông An	1938	東	単廊	3	9,131	9	24,801	3,115	6,940(R)	
BC411	Ho.	Cần Khu	1920	北西	単廊	3	8,583	6	21,728	3,663	6,800(C)	
BC413	Ho.	Tân Lạc	1902	東	単廊	3	12,691	6	33,625	5,312	10,440(R)	
BC435	Xu.	Tây Dương	1908	東	単廊	3	10,552	8	28,292	3,531	7,360(R)	
BC519	Xu.	Thụy Nhài	1927	東	単廊	3	15,558	8	55,110	6,219	12,800(C)	

表3. 2014年8月 ファットジェム教区調査データ

No.	区分	教会堂名	建設年	方位	外観	間口方向			奥行方向			高さ
						柱間	全幅*	柱間	全長*	標準柱間		
PD173	Ho.	Đông Thịnh	1938	北	単廊	3	8,799	4	29,062	6,853	7,900(R)	
PD014	Ho.	Hiếu Sinh	1938	東	単廊	3	5,628	5	20,241	4,012	6,808(R)	
PD081	Ho.	Yên Hòa	1938	北	単廊	3	6,926	5	19,823	3,609	5,807(R)	
PD240	-	Châu Sơn	1945	西	単廊	3	16,930	15	64,420	3,994	13,491(C)	
PD118	Ho.	Hàm Phú	1922	北東	単廊	3	6,926	6	19,331	3,423	5,773(C)	
PD040	Ho.	Tuy Lai	1939	北東	単廊	3	12,219	8	42,691	4,052	8,290(C)	
PD031	Ho.	Kim Vọng	1931	北	単廊	1	6,130	-	14,638	-	5,800(R)	
PD102	Ho.	Hiệp Hòa	1932	北	単廊	3	5,380	3	17,201	4,986	5,280(C)	
PD186	Ho.	Trung Nghĩa	1940	南西	単廊	3	8,169	4	22,043	4,822	5,670(C)	
PD220	Ho.	Tân Tông	1933	南西	単廊	3	6,095	3	14,241	4,834	5,170(R)	
PD181	Ho.	Yên Công	1930	北東	単廊	1	4,876	-	14,564	-	5,135(R)	
PD271	Xu.	Nạp Quảng	1919	東	単廊	3	10,493	7	30,239	3,588	7,893(C)	

表4. 2015年7月 ファットジェム教区調査データ

No.	区分	教会名	建設年	方位	外観	間口方向			奥行方向			高さ
						柱間	全幅*	柱間	全長*	標準柱間		
PD105	Xu.	Nhu Sơn	1925	西	単廊	5	12,775	6	33,123	4,796	7,911(C)	
PD239	Xu.	Hoài Lai	1931	南東	単廊	1	21,391(8,015)	(L)	33,501	-	6,886(C)	
PD048	Xu.	Vân Hải	1904	東	単廊	3	13,805	9	39,823	4,014	8,198(C)	
PD216	Ho.	Làng Ngòi	1930?	南西	単廊	3	7,736	5	23,621	3,578	5,693(C)	
PD185	Xu.	Nam Hiên	1956	北西	単廊	3	11,558	6	34,824	3,993	7,723(C)	
PD145	Xu.	Tôn Đạo	1936	北東	単廊	3	17,748	9	45,687	3,989	10,989(C)	
PD219	Xu.	Đông Chùa	1929	西	単廊	3	11,959	7	36,548	4,538	8,565(C)	
PD140	Ho.	Đông Quan	1943	西	単廊	3 <sup>75A</sup>	5,416	3	12,813	4,242	5,031(R)	
PD259	Xu.	Yên Thọ	1926	南	単廊	3	11,031	6	28,061	3,716	8,593(C)	
PD263	Ho.	Giảng Khương	1930?	東	単廊	3	5,710	(2.5)	11,575	-	5,969(R)	
PD013	Ho.	Phước Trung	1923	南西	単廊	3	11,996	7	35,519	4,447	11,008(C)	
PD278	Ho.	An Bái	1933	北	単廊	3	6,297	3	19,381	5,702	5,689(C)	

表5. 2016年8月 ブイチュ教区調査データ

No.	区分	教会名	建設年	方位	外観	間口方向			奥行方向			高さ
						柱間	全幅*	柱間	全長*	標準柱間		
BC526	Xu.	Phu Nhài	1922-33	東	単廊	3	26,200	8	75,490	7,077	23,757(C)	
BC283	Xu.	Bảo Đai	2010-15	北東	単廊	3	21,969	8	56,086	5,904	18,394(C)	
BC498	Xu.	Bùi Chu	1885	東	単廊	3	16,391	10	59,355	5,806	9,804(C)	
BC422	Xu.	Tân Lý	1923-36	南東	単廊	3 <sup>75A</sup>	13,492	8	40,708	5,007	13,862(R)	
BC459	Xu.	Ông Ngòi	1921	東	単廊	5	12,214	7	35,604	4,723	9,316(R)	
BC163	Ho.	Phước Đế	1888	西	単廊	5	10,622	6	18,917	2,857	6,336(R)	
BC472	Ho.	Lịch Đông	1932-36	北東	単廊	3	6,959	6	19,698	3,225	5,616(C)	
BC297	Ho.	Đà	1926	南西	単廊	3	7,397	6*	28,164	2,921	6,079(R)	
BC412	Xu.	Quần Liêu	1884	北	単廊	5	16,724	11	49,737	4,130	10,648(R)	
BC266	Ho.	Đại	1927-33	南東	単廊	3 <sup>75A</sup>	8,338	7	31,055	4,026	9,823(R)	
BC233	Ho.	Phật Thọ (Trại Bàu)	1840	?	単廊	5	11,781	8	30,206	3,306	8,864(R)	

(2) 煉瓦造教会堂の内部空間構成の類型  
 教会堂身廊部の煉瓦造列柱を間口方向および奥行方向に繋げる架構、その上の高窓などで構成される内部空間について整理すると、以下の7つに類型に大別できる。

①単廊式で、煉瓦造壁に木造小屋組で屋根を支持するもの。架構として簡易なトラス式が用いられている。あまり古い例は現存しないが(1930年前後)、小規模教会堂の祖形となる形式であろう。なお、内部に柱を立てず、単廊としながら、祭壇手前で同じ幅の廊を交差させてラテン十字形の平面をした実例(PD039)が例外的にあるが、奥行に深い単純な長方形プランの例がほとんどである。

次に、3廊式以上で聖堂全体が一つの大きな切妻屋根で覆われている例をみると、まず②柱・側壁に架かるアーチ壁が小屋組を持たず、屋根を直接支持するもの。木造小屋組を介さずに、三角形頂点をもったアーチ壁が屋根を直接かけるなど構法的にみて初期的な手法と考えられる。

③柱上部では東・斜梁・水平梁など伝統的な木造小屋組を組んで屋根を支えるが、柱間や側壁との間にアーチ風フレームが架かり、その多くの例で後世、そこに簡易なヴォールト状天井が張られるケースが多い。この類型はブイチュ教区にはあまり見られず、ファットジェム教区に1930年代の事例に特異的に多い。また、奥行方向は木造ないしRC造の水平材が使われ、柱間の中央で束を立て追加的な斜梁を渡すことで、奥行方向の柱間が比較的広くとられることが特徴である。

④身廊横断アーチ壁の上に水平梁を置き、その上に木造小屋組を組み屋根がかかるもの。奥行方向もアーチ壁で上端の水平部で屋根の母屋材を受けている。柱を木材から煉瓦に置き替えた場合、通常用いられると考えられる構法であり、煉瓦造教会堂として最も標準的な内部架構形式と考えられる。これに③と同様のヴォールト風天井を張るものがある。

⑤身廊部と側廊部を一体の切妻屋根で覆われているにもかかわらず、身廊部奥行方向のアーチ(奥行アーチ)と側廊に架かるアーチ(側廊アーチ)に高さの差をあまり設けず、身廊部間口方向に架かるアーチ(横断アーチ)

をそれらよりかなり高い位置に架け、直接光の入ることのない擬似的な高窓風の装飾が備わるもの。

さらに、身廊部と側廊部で屋根を切り替えた「重層」の外観の事例をみると、⑥身廊部の横断アーチ壁を高く立ち上げて高窓を設け、かつ天井を張るもの。煉瓦造アーチ壁構造で列柱を繋ぎ、その上にクリアストリーを完備する本格的な教会建築で、1920年代後半に、PD013やPD219など秀作がみられる。

⑦RC造の水平梁やスラブを用いて、身廊部を高く立ち上げて高窓を設けているもの。これまでの調査より、RC造が教会堂建築に本格的に導入されたのは、1930年代後半になってからだと推定される。高窓を備えた本格的な教会堂が、PD526やPD240のような大聖堂としてだけでなく、各地に出現することになったと考えられる。

**(3) 木造、煉瓦造、近代RC造を含めた北部教会堂の建築史的体系化** 本研究により、近代のRC造導入を含めた煉瓦造教会堂の建築的実態を明らかにすることができた。これに、本研究着手前までに実施してきた木造教会堂の観点を加えれば、ほぼそのまま北部教会堂の建築史的流れを示すはずである。

すなわち、19世紀までは木造教会堂が主流で、北部の仏教寺院や民家などにも共通する水平梁と東からなる伝統的な木造架構を基本とし、より簡素な斜梁を主体とした架構を加えながら展開したものと考えられる。ただし、本研究により、新たに明らかになったこととして、とくにファットジェム教区においては奥行方向にも水平材で軸組・小屋組を繋ぎ、さらにその柱間をより広くとる工夫が木造教会堂のなかでなされていた可能性が指摘できる。後述するように、少なくともファットジェム教区では、この流れはその後の煉瓦造教会堂にも引き継がれた。

また、現存例で実証することはできなかったが、おそらく、単廊式の教会堂は木造教会

堂が盛んに建設されたなかでも存在したはずで、19世紀中期以前にまで遡りうる教会堂の遺構がないが、おそらくこうした単廊式教会堂が初期的な建築として建設されていたと想像できる。

柱が木材から煉瓦の置き換わるのが、現存事例からすると、1900年代から10年代のことであった。当初はブイチュ教区を中心に煉瓦造の柱を煉瓦造のアーチ壁を立て、その上に従来の木造架構・小屋組を渡し、屋根で覆ったものであった。ファットジェム教区ではさらに簡易に柱を煉瓦造とするだけで、それを繋ぐ架構もその上の小屋組も従来通りの木造のままとし、代わりにアーチ風フレームで柱を繋いだようにみせる手法もみられた。

1920年代ともなると、煉瓦造アーチ構造を理解したうえで、高窓を備えた本格的な教会堂建築が出現するようになり、非常に短い期間のうちに、煉瓦造教会堂の頂点となるような作品も登場している。

1930年代は教区再編などの影響で多くの小規模教会堂が建設される。ちょうどその時期に伝統的な煉瓦造建築にRC造が併用・混在されるようになり、奥行方向にアーチではなくRC造の水平横架材が使われ始めたと考えられ、とくにファットジェム教区では奥行方向での減柱を行う教会堂がはっきりとみられるようになった。また、同時に、床や庇などスラブとともに、身廊部分の高窓を支える部分にもRC造構造が適応され、本格的な教会堂建築が各地に出現し、逆に、20年代の煉瓦造による本格的教会堂の建設はなくなってしまった。

**(4) 調査成果の現地還元とデータベースシステムの活用による教会堂の保全** 本研究期間の5カ年のうち4年間は毎年、夏期を中心に実測調査を行い、その調査成果を年度内にまとめ、翌年3月に、その一部を掲載した展示用パネルと簡易冊子を当該の教会に贈り、ごく一部ではあるが、簡易な報告会を実施し、

教会堂の建築史的価値の周知を試みた。

最終年度として、2007年より継続的に実施してきた実測調査の成果を総括するとともに、その調査成果などを格納したデータベースシステムを現地関係者に還元するための研究集会を、これまで調査協力していただいたフェ科学大学建築学科とフェ外国語大学日本文化科と連携し、2017年11月18～19日、ベトナム中部フェ市において開催した。当該集会には、当該両カトリック教区本部より派遣されたWEB関係の担当神父のほか、フェ科学大学建築学科および外国語大学日本文化学科の教員8名と学生22名などベトナム人参加者は35名であった。フェ大学の両学科からそれぞれこれまでの調査の総括発表が行われ、さらに両教区および科学大学建築学科に対してデータベースシステムの内容と利活用に関するガイダンスと講習を行った後、システムごと当該データを引き渡した。今後、これをそれぞれの教会で信者らとともに更新しつつ、教会建築および教会文化の保全に活かしていただくことを期待している。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 13件)

- ①山田幸正、ブイチュ教区の教会堂建築に関する2016年夏期調査の概要(2)、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.859-860、2017年9月
- ②山田幸正、ブイチュ教区の教会堂建築に関する2016年夏期調査の概要(1)、日本建築学会北陸支部研究報告集第60号、査読無、pp.615-618、2017年7月
- ③前田萌菜美、山田幸正他、塔型の教会堂における正面ファサード意匠の特徴、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.809-810、2016年8月
- ④永井美香子、山田幸正他、教会堂の規模別にみた平面と内部空間構成の特徴、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、

pp.807-808、2016年8月

⑤山田幸正他、ファットジェム教区における2015年夏期調査対象教会堂の概要、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.805-806、2016年8月

⑥Yukimasa YAMADA, The Cultural Value of Timber-Framed Churches in Northern Vietnam, Proceeding of International Conference CIAV+ICTC 2015, Timber Heritage and Cultural Tourism: Values, Innovation and Visitor Management, 査読有, pp.120-135, Bangkok, Nov. 2015

⑦前田萌菜美、山田幸正他、ファットジェム教区における小規模教会堂の正面ファサード、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.37-38、2015年9月

⑧山田幸正他、ファットジェム教区における小規模教会堂の内部空間構成(2)、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.35-36、2015年9月

⑨永井美香子、山田幸正他、ファットジェム教区における小規模教会堂の内部空間構成(1)、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.33-34、2015年9月

⑩山田幸正他、ブイチュ教区における煉瓦造教会堂の内部空間構成、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.697-698、2014年9月

⑪七丈将也、山田幸正他、ブイチュ教区における煉瓦造教会堂の柱とアーチ、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.695-696、2014年9月

⑫永井美香子、山田幸正他、ブイチュ教区における煉瓦造教会堂の配置と平面、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.693-694、2014年9月

⑬七丈将也、山田幸正他、北部3教区における非木造教会堂の建設年代について、日本建築学会大会学術講演梗概集、査読無、pp.603-604、2013年8月

[学会発表] (計 9 件)

①山田幸正、ブイチュ教区の教会堂建築に関する 2016 年夏期調査の概要 (2)、日本建築学会大会、2017 年 9 月

②山田幸正、ブイチュ教区の教会堂建築に関する 2016 年夏期調査の概要 (1)、日本建築学会北陸支部研究報告会、2017 年 7 月

③前田萌菜美、山田幸正他、塔型の教会堂における正面ファサード意匠の特徴、永井美香子、山田幸正他、教会堂の規模別にみた平面と内部空間構成の特徴、山田幸正他、ファットジェム教区における 2015 年夏期調査対象教会堂の概要、以上 3 編、日本建築学会大会、2016 年 8 月

④Yukimasa YAMADA, The Cultural Value of Timber-Framed Churches in Northern Vietnam, International Conference CIAV+ICTC 2015, Timber Heritage and Cultural Tourism: Values, Innovation and Visitor Management, Bangkok, Nov. 2015

⑤前田萌菜美、山田幸正他、ファットジェム教区における小規模教会堂の正面ファサード、山田幸正他、ファットジェム教区における小規模教会堂の内部空間構成 (2)、永井美香子、山田幸正他、ファットジェム教区における小規模教会堂の内部空間構成 (1)、以上 3 編、日本建築学会大会、2015 年 9 月

⑥山田幸正他、ブイチュ教区における煉瓦造教会堂の内部空間構成、七丈将也、山田幸正他、ブイチュ教区における煉瓦造教会堂の柱とアーチ、永井美香子、山田幸正他、ブイチュ教区における煉瓦造教会堂の配置と平面、以上 3 編、日本建築学会大会、2014 年 9 月

⑦山田幸正、ベトナム人司祭チャン・ロックとファットジェム大聖堂、立教大学アジア地域研究所公開シンポジウム「アジアにおけるキリスト教」、立教大学池袋キャンパス 14 号館 D301 教室、2014 年 7 月

⑧七丈将也、山田幸正他、北部 3 教区における非木造教会堂の建設年代について、日本建

築学会大会、2013 年 8 月

⑨Yukimasa YAMADA, Sharing of Cultural Values in the Catholic Villages of Northern Vietnam—Through Building and Using a Database System of Survey Results, International Conference CIAV2018, “Cultural Heritage and Sustainable Development”, Tabriz, IRAN, October 1-3, 2018 (投稿中/Abstract 受理)

[図書] (計 1 件)

①山田幸正、立教大学アジア地域研究所機関誌「なじまあーAccessible Asiaー」No.05 2015、ベトナム人司祭チャン・ロックとファットジェム大聖堂ーベトナムのキリスト教と木造教会堂建築、28pp

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件) ○取得状況 (計 0 件)

[その他]

ホームページ : <http://www.comp.tmu.ac.jp/yamadalab/vietnam.html>

国際研究集会 : Hue Research Meeting on Architectural Survey of Catholic Churches and its Database System in Northern Vietnam, 2017 年 11 月 18~19 日、フエ市

## 6. 研究組織

### (1)研究代表者

・山田 幸正 (YAMADA Yukimasa)

首都大学東京・都市環境科学研究科・教授  
研究者番号 : 10191347

### (2)研究分担者 なし

### (3)海外研究協力者

・グエンゴックトウン (NGUYEN Ngoc Tung) フエ大学科学大学建築学科・副学科長

・グエンティフンチャ (NGUYEN Thi Huong Tra) 外国語大学日本文化学科・学科長

### (4)研究協力者

・寺田浩之 (TERADA Hiroyuki) 終設計・主任

・レカムニョン (LE Cam Nhung) (一社)  
日越学術交流センター・副代表